

校長室だより  
NO. 10  
令和元年6月3日

# すべては光る

梅園小学校長  
たか すりょうへい  
高須 亮平

## 「信じよう わたしのやればできる力」を目指した大運動会

万緑の5月25日（土）、令和元年度の本校大運動会を成功裡に終えることができました。その中では、子どもたちが、自分のやればできる力を信じて、それを発揮する姿を見せてくれました。そのことに大きな成果を感じています。天候は晴天で、たいへん暑い日となり、子どもたちの体調が心配されましたが、力一杯の競技、演技、応援を学習の発表とすることができました。その背景には、保護者の皆様、学区の皆様にも多大なるご理解とご協力があり、本当に感謝をしています。

本年度の大運動会のテーマは「信じよう わたしのやればできる力」です。それを目指した取り組みが至る所に見られました。そんな姿を教師の指導記録が物語っていますので紹介します。



堂々とした入場行進

### ○ 2年の学級担任の指導記録

旗手に、がんばり屋さんですが、少し心配性のA君を選びました。最初は「できない」と言い張ったので、本番もすぐそばに私がいること、練習してみてもできなさそうだったら交代しようという約束で練習に臨みました。練習中は不安そうな表情をすることがありましたが、本番は「ぼくを見て」と言わんばかりの自信満々の笑顔で入場行進をし、立派に旗手を務めてくれました。この経験が彼の自信につながるいいなあと思います。



思いを込めた選手宣誓

### ○ 4年の学級担任の指導記録

大運動会の練習や本番を通して、子どもたちの学級・学年の絆が育まれました。4月からの緊張した雰囲気やまだまだ自分を出すことができない中で、練習が始まりました。学級対抗リレーではリーダーが責任を持って取り組めたり、そのリーダーについていこうとしたり、また全員が力を合わせて男子が女子を、女子が男子を応援したりして、そのよさが感じられました。結果は優勝はできませんでしたが、誰かを責めることなく、全員がやりきった顔をしていたのは大きな成長と感じました。縦割りの色別対抗リレーも学年を超えた仲間をつくる上で素晴らしいことと思いました。「信じよう わたしのやればできる力」のもと、自分の可能性や挑戦する気持ちをこれからも大事にしていくため、教師として子どもたちを支えていきたいです。



息の合った見事なバトンパス(6年)



リズムに合わせた演技(1年)

### ○ 5年の学級担任の指導記録

この大運動会での子どもたちの成長は、「粘り強さ」が生まれてきたことです。5年生になり、初めて挑戦した組立体操は、あまり運動が得意でない子どもたちにとってかなりの試練でした。実際に体のバランスがうまく取れない子が何人もいました。技ができなくて「できない」「こわい」「むり」と言って泣く子が何人もいました。それでも少しずつ自分でできることを実感し、自信のある表情で技ができるようになりました。特に、技がなかなかできなかったBさんは、いつの間にか「大丈夫だよ」とみんなを励ますようになり、リーダー性を発揮するようになりました。それをきっかけに「できるよ」と声を掛け合う子どもたちの姿が見られるようになりました。できないと言ってあきらめるのではなく、何度でも練習するという粘り強さが生まれてきたのは、大きな成果だと思います。しかし、まだまだ高学年としての自覚は薄い面があり、まわりや低学年のためという気持ちをこれから育てていかなければなりません。次は、低学年を思いやれるようなきっかけづくりを考えていきたいです。

実際にはまだまだ多くの指導記録から、子どもたちの成長の姿を確認することができます。それだけ、この大運動会の意味はあったと感じています。ここでは、紹介した3人の学級担任の指導記録からの成果を述べます。

2年の学級担任の指導記録からは、教師が子どものよさや足りなさをとらえ、その中から確かな願いをもって指導に当たっていることを感じます。だから、子どもに合ったいろいろな手立ても生まれ、その子の成長につながっています。そこには、まさに子どもの「やればできる力」を引き出している教師の姿があります。

4年の学級担任の指導記録から、リレーという競技を通して子どもどうしのかかわり合いを大切にする教師の姿を感じることができます。その中から、力を合わせることであったり、リーダーシップやフォロアーシップというような、他を意識して自分や学級の目標に向けて行動しようとする子どもが成長してきています。

5年の学級担任の指導記録から、組立体操を通した多くの子どもたちの成長を感じます。今、振り返ると、簡単なように思えますが、その時その時で、子どもも教師もたいへんな葛藤の連続であったと思います。そんな試練を乗り越えたところに新たな自己を見出しています。それが教育なのです。学校は楽しい場所であるとともに、苦しいことに歯を食いしばって立ち向かう場所でもあります。そして、子どもたちはたくましく成長していくと思うのです。



大きなバトンをつないだ競遊(2年)



アップテンポのリズム表現(3・4年)



心を合わせた組立体操(5・6年)



最後まであきらめずがんばる竹取



熱い思いを表現する騎馬戦